

# 岐生研春の理論学習会で 集団づくりを深めよう！

## 全国大会基調報告をどう読むか？

私たちの実践の指針である全国大会基調報告。昨年の第56回全国大会基調報告のテーマは、**“ケアと自治”を基本とする生活指導と集団づくり**”でした。

- ①ケアと自治は「と」でつなぐことができるのかという「ケア」と「自治」の考察。
- ②'06年の教育基本法改定で「教育の方針」を廃し、「教育の目標」を設けたのはなぜか？
- ③「自己責任」とは何か？「自己責任に基づく自己実現」とは何か？
- ④「当事者である」、「当事者になる」、「当事者性をたちあげる」ことの違いは何か。
- ⑤「班づくり」をとらえなおす=今求められている班とは何か？
- ⑥今求められているリーダーシップ、フォロアーシップとは何？

～講師 山本敏郎先生 日本福祉大学 子ども発達学部 教授～

山本敏郎先生が  
詳しく解説！

これらの諸点について、東海北陸地区セミナー元校長であり、全国大会基調報告委員会の元メンバーでもある山本敏郎さんが、現場の実践家に分かるように、いや、実践家だからこそ分かるようにお話しします。「学習なくして、実践なし!」。教師としての実践力を磨くために、学習は欠かせません。多数の参加をお待ちしています。

**2月28日（土）可茂教育会館 13：00～15：30 0574-53-6011**

**参加費無料。会員でなくでもどなたでも参加できます 連絡先 佐藤 真090-1747-0322**